

平成27年度 和歌山国体選手選考について

平成27年6月12日
長崎県水泳連盟競泳委員会
委員長 北村 貴志

以下、平成27年度和歌山国体選手選考基準とする。

- ① 長崎県国体予選会決勝において各区分1位の選手で参加標準記録突破の選手。
- ② 権利獲得者は次の大会の記録を参考記録とする。
(J O夏季予選・西日本年齢別・長崎県高校総体・九州高校・長崎県中総体・日本選手権)
- ③ リレーについては権利獲得者の該当種目において4名の合計記録が前年度予選8位相当のみ推薦する。
※ 各区分において3名が個人種目で標準記録突破を前提とする。
- ④ 国体予選会決勝の順位が最優先され、別大会にて逆転現象がおきても国体予選会の順位を優先するものとする。2位の選手が別大会において1位の選手の記録を上回っても推薦しない。
- ⑤ 成年区分について
ア・成年に関しては以下の大会の記録を参考にする。
(日本選手権・JAPANOPEN・各地区においての長水路の公認大会)
イ・国体予選会の結果を尊重するが場合により記録を優先する場合がある。
競泳委員会で推薦し選考会で推薦選手を決定するものとする。
ウ・リレーについては権利獲得者の4名の合計記録が前年度予選8位相当のみ推薦する。
※各区分において3名が個人種目で標準記録突破を前提とする。

上記の条件を満たした選手を競泳委員会で選考し、選考委員会に推薦するものとします。